

山野井たかし後援会だより

22

後援会連絡所

〒323-0807 栃木県小山市城東 3-14-5 0285-20-5000

ホームページ <http://www.city-oyama.com/yamanoi.htm>

発行責任者：津布久正夫

編集者：蔭山 豊

発行日：4月 2日

日頃からのご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

これからも、小山市民が安心して暮らせる街づくりをめざして頑張ってまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

平成 20 年第 1 回小山市議会定例会が 2 月 21 日から 3 月 14 日の日程で開催されました。

本議会に上程された議案は、平成 20 年度小山市一般会計をはじめ、当初予算に関するもの 13 件、平成 19 年度小山市一般会計をはじめ、補正予算に関するもの 8 件、小山市後期高齢者医療に関する条例の制定など条例の制定、一部改正、廃止に関するもの 15 件、その他、指定金融機関の指定について、環境都市宣言についてなど 9 件のあわせて 46 議案でありました。

各常任委員会において活発な議論を行った結果、全議案が原案通り可決されました。



市政一般質問をする山野井議員

・・・主な議案・・・

【平成 20 年度予算について】

平成 20 年度小山市一般会計予算は、523 億円、特別会計は 10 事業で合計 326.4 億円であります。

<一般会計・特別会計予算>

(千円)

会計	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率	
一 般 会 計	52,300,000	51,850,000	450,000	0.9	
特 別 会 計	国民健康保険(事業勘定)	16,006,700	15,562,000	444,700	2.9
	老人保健	850,900	9,590,000	8,739,100	91.1
	介護保険	6,517,100	6,393,600	123,500	1.9
	後期高齢者医療	974,000	0	974,000	新設
	墓園やすらぎの森事業	103,400	30,700	72,700	236.8
	与良川水系湛水防除事業	39,500	44,500	5,000	11.2
	農業集落排水処理事業	1,399,600	1,426,000	26,400	1.9
	梁山工業用地造成事業	271,100	0	271,100	新設
	公共用地先行取得事業	43,500	45,000	1,500	3.3
	(犬塚宅地造成事業)	0	900	900	廃止
	(城南第二宅地造成事業)	0	6,000	6,000	廃止
	(城北宅地造成事業)	0	1,000	1,000	廃止
	公共下水道事業	6,433,400	5,328,800	1,104,600	20.7
	小 計	32,639,200	38,428,500	5,789,300	15.1
合 計	84,939,200	90,278,500	5,339,300	5.9	

・ ・ ・ 山野井たかし市政一般質問 ・ ・ ・

【スポーツ施設について】

Q：市長の考える 1 市民 1 スポーツとはどういうものなのか伺いたい。

A：全ての市民の皆様が運動を推進するため、1 市民 1 スポーツの定着を目指している。そこで、市民の皆様が健康な身体をつくるためにスポーツを通じた市民の健康づくりを進めていく。

Q：小山運動公園の陸上競技場の改修及び、他スポーツ施設を含めた全体的な整備計画は。

A：陸上競技場については全天候型トラックへの改修要望もあり、平成 20 年度はこれらを検討するための委員会を設置する予定である。今後、市民が利用しやすい施設となるよう関係各課と調整を図りながら改修を検討していく。

Q：市内運動施設、スポーツ施設の平日、休日の利用状況と今後のグラウンド等の整備計画は。

A：県南体育館は休日は空きのない状況である。小山運動公園、あけぼの公園、原の内公園の運動施設においては、平日は 33%、休日は 57% の利用状況である。今後、市内のグラウンドを始めスポーツ施設が市民が利用しやすい施設になるよう、関係各課と調整を図りながら整備を検討していく。

Q：平成 20 年度予算に総合型地域スポーツクラブの育成として 10 万円が計上されているが、どのような調査研究を行っていくのか。また、今後どのような育成事業を行っていくのか。

A：3 年前から総合型地域スポーツクラブ設立に取り組んでおり、小山二中学区にモデル事業となる事業を進めてきた。4 月 20 日に『おっこクラブ』の設立総会を行う。今後も総合型地域スポーツクラブの育成として、市民への啓発活動として県のアドバイザーを派遣し、説明会やクラブマネージャーの育成支援をしていく。

【学校給食について】

Q：市内小中学校の給食で出しているご飯をどのような状態で子供たちに食べさせているのか伺いたい。

A：中学校は全て御飯からおかずを共同調理場でつくっており、冷めないように保温性のある二重食缶を利用して相手校に運搬している。調理場では時間を見計らっているが、クラスで食べるころには冷めてしまうことがあるので、調理開始時間などを調整するなど、関係者全員で協力して対応する。

Q：市内小中学校の給食で使用している食材に中国製冷凍食品がどれくらい使用されているのか伺いたい。

また、それ以外の食材についてもどのような安全対策がされているのか伺いたい。

A：冷凍食品は栃木県学校給食会から購入しているが、国内で製造されたものに限って使用しており、細菌等の微生物検査をして安全を確認している。また、缶詰の一部は中国産の者を使用している学校もあったが、使用しないようにしていく。冷凍食品もなるべく使用を控えるように努力する。

Q：学校給食未納について教育委員会や各校においてどのような対策をし、どの程度改善されたのか伺いたい。

A：各学校では家庭訪問、面談、電話、文書の送付等で督促の強化を図った。生活困窮者には援助の相談、分割納付、納付誓約書の提出も受け付けている。平成 18 年度の滞納額は、平成 19 年 3 月 31 日現在で 66 人 56 世帯、147 万 8445 円であったが、12 月 31 日現在では、20 人 16 世帯 50 万 865 円に減少した。

【地上デジタル放送への対応について】

Q：地上デジタル放送に対する小山市の取組みが示されていない。どのような考えがあるのか伺いたい。

A：国の諮問機関である情報通信審議会からは、生活保護世帯等の生活弱者に対する支援が必要との提言もされており、夏までに支援策が纏められる。国において生活弱者への支援が完結できるよう要望していきたい。

Q：難視聴地域と JR・東京電力との話合いの進捗について伺いたい。また、市としての対応について伺いたい。

A：共聴組合は J R 東日本に対して、補償金の前倒しや電波障害対策のテレビ小山への移管が円滑に行われることを強く要望している。小山市としてテレビ小山放送に円滑に移行できるよう、話合いに同席するなど側面的な支援をしてきた。

東京電力としては、自分でアンテナをたてて受信するかケーブルテレビに加入するかを選択をパンフレットにより各戸配布を行った。行政側としては、テレビ小山放送に移管する方向での交渉にも同席して東電、ケーブルテレビとの間で協議を進めてきた。

【子供たちの安全対策】

Q：学童保育館の不審者対策として、刺叉を配備することはできないか。

A：刺叉は不審者に対して有効であり、早急な整備が必要と考えており、本年度中に整備したい。

【環境行政について】

Q：環境 ISO14001 の認証を取得し、市内外に小山市の取組みを強くアピールすべきと考えるが。

A：ISO 認証取得は一定の効果が得られると考えているが、取得することが目標ではなく、環境管理システムに取り組んでいることが重要である。また、ISO を取得自治体でも費用負担や事務的手続きを考慮して自己宣言に移行する団体もある。第二次環境保全率先実行計画をきちんと進めるが重要であると考えている。

Q：環境保全率先実行計画の中に掲げた公用車の低公害車への切替えについて、率先して市長車を低公害車へ切替えることを提案するが、考えを伺いたい。

A：来年度から実施する小山市第二次環境保全率先実行計画では、目標年度である平成 22 年度までに 7 台の低公害車を導入するとしている。まず、平成 20 年度に低公害車を 3 台、BDF の使用車を 1 台予定している。今後は、計画を強力に推進し、低公害車の導入を図っていく。

・ 次回の議会は 6 月 6 日から 26 日の日程で開会される予定です。ぜひ、議会の傍聴をお願いします！

・ 議会を市民の皆さんにご覧いただけるようにテレビ小山放送の 5 チャンネルで本会議を生中継しています。

土曜日と日曜日には再放送もありますので、ぜひご覧ください。

・ 小山市議会及び山野井たかしへのご意見・ご要望をお待ちしています。